

ケーススタディ

GORE® リメディア® 触媒フィルターバッグ 都市ごみ焼却施設

岡山県内の自治体焼却施設

課題

そのエンジニアリング会社は、建設費と運用費を抑えて、効率的なダイオキシンと NOx 排出制御を組み合わせることができると中規模の焼却施設を建設したいと考えていました。

地方自治体から新しい都市ごみ焼却施設を受注するためには、技術的にも競争力のある設計が必要でした。そして他社との競争入札に勝利して、岡山県A市から施設の新設工事を受注することができました。

ソリューション

そのエンジニアリング会社は、排出ガス制御のために GORE® リメディア® 触媒フィルターバッグを採用しました。施設は2014年3月に完成し、GORE® リメディア® 触媒フィルターバッグ と炉内脱硝システムを使用することで、信頼性の高いダイオキシン排出抑制と効果的な NOx 排出抑制を同時に実現しました。炉内脱硝の尿素注入の使用量を抑え、トータルの運用コストを削減しています。また、施設の煙突から漏れだす排ガス中のリークアンモニアの量を大幅に削減することにも成功しました。

結果

ダイオキシン類の排出量は 0.015ng-TEQ/Nm^3 (導入以来の年間平均) で、規制値の 1ng-TEQ/Nm^3 (施設処理能力 $2\sim 4\text{t/h}$ 時) を大きく下回っています。

さらに煙突からのリークアンモニアの量は、バッグフィルターの前後で99% 減少し、 0.1ppm 以下になりました。



施設情報

| | |
|-------------|----------------------------|
| 用途、炉形式 | 都市ごみ焼却施設、ストーカー式 |
| 排ガス対策 | ばいじんおよびダイオキシン類の排出対策 |
| 処理能力 | 55t/24hr x 2 炉 |
| 排ガス量 | 18,500 Nm ³ /hr |
| バッグフィルタ運転温度 | 190°C |
| 総ろ過面積 | 534m ² /炉 |
| ばいじん規制値 | < 20 mg/m ³ |
| 差圧 | 1200Pa |
| ろ布使用期間 | 5年 |
| ろ布材質 | GORE® リメディア® 触媒フィルターバッグ |

本製品は、一般工業用途に限定してご使用ください。食品、医薬品、化粧品または医療機器の製造、加工、包装工程にはご使用いただけません。

記載された技術情報および推奨事項は全て、GOREにおける過去の経験または試験結果に基づくものです。可能な限り正確な情報を記載していますが、法的責任を伴うものではありません。製品の動作性能は、運転データが全てそろわない限り判断できないため、お客様の実際のご使用状況において適合性と機能性をご確認ください。上記情報は変更されることがあり、仕様書として使用することはできません。GORE製品の売買には、GOREの販売条件が適用されます。

GORE、GORE、Together, improving life、リメディア、および記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associatesの商標です。
© 2011-2023 W. L. Gore & Associates Inc. © 2011-2023 日本GORE合同会社

日本GORE合同会社

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 14F
TEL: 03-6746-2570 FAX: 03-6746-2571
gore.co.jp/remedia

